

1.計画名称

茅野市食育推進計画

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	(R4・総括評価共通) 新型コロナウイルスの影響により活動が制限されてしまったものの、できることから取り組んだ。ホームページやビーナチャンネル等での発信が主になったが、個別の栄養指導は、取り組むことができた。
今後の重点化施策番号	2	説明	健康長寿のためには、食生活がとて重要になるため、健康づくり計画の推進とともに市民の生活習慣の改善に取り組んでいく。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	『ち』地域の食文化を大切に守り、伝えます(3)	おおむね順調	(R4評価) 郷土料理のレシピ集を、乳幼児健診で保護者に配布した。もっと、レシピを紹介してほしいとの声をいただくなど、興味を持っていた。 (総括評価) 料理教室や郷土料理のレシピ集を活用し、郷土料理の紹介をしている。	(R4評価) 郷土料理に関心はあるが、作り方がわからない、面倒、おいしくないなどの課題がある。食文化を継承していくには、受け入れることができる味にしておく必要がある。 (総括評価) 食文化を継承していくには、受け入れることができる味にしておく必要がある。	(R4評価) ホームページにレシピを掲載したり、ビーナネットに動画を配信する。若い世代に郷土料理のレシピを配布し、気軽に家で調理できるように伝えていく。また、現代風にアレンジして伝えていくことも必要と思われる。 (総括評価) ネット等を利用し、若い世代に伝えていく。
2	『の』望ましい食生活で健康長寿を目指します(1)	おおむね順調	(R4評価) 料理教室等は、感染対策をしながら通常通りに開催し、健康のために食を大切にすることを学んでもらうことができた。広報で給食レシピの紹介、ビーナネット動画を配信し、多くの市民に見てもらった。 (総括評価) ネット等を活用して、望ましい食生活を伝えていく	(R4評価) コロナの影響で、地区料理講習会は再開できていない。食の大切さを情報発信する方法を考える必要がある。 (総括評価) 地区料理講習会は再開できていない。食の大切さを情報発信する方法を考える必要がある。	(R4・総括評価共通) 定期的にビーナネットや、ホームページ、広報等を活用する。食生活改善推進員等を通じて、地域の人に望ましい食生活の具体的な方法を伝えていく。また、コロナ禍でも感染対策をして、出来る範囲で講座、料理教室等を実施する。
3	『し』食でコミュニケーションアップを図ります(2)	おおむね順調	(R4評価) 3年ぶりに「測定体験」という形でイベントが開催できた。大勢の方に血圧管理の大切さや、野菜摂取の良さをPRできた。ビーナネットでレシピ動画を配信し、手軽に家庭で料理を楽しんでもらう取組みをした。 (統括評価) イベントや動画配信で取組みを実施した。	(R4・総括評価共通) アフターコロナになり、新しいイベントの方法を考える。動画配信等で情報発信しているが、どのくらいの方に見てもらっているのかわからない。また、一方通行の情報になるので、対象者に意図が伝わっているか不明である。	(R4・総括評価共通) ホームページやビーナチャンネルでの動画配信などの情報発信が対象者に届いているか、視聴回数やアンケート調査等で確認する。また、イベントや料理教室等を再開しながら、より効果的な方法を模索する。

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称	食育推進計画推進委員会	関連団体がそれぞれの立場で食育への取組を行っているため、今後も継続して取り組んでいく。高血圧が課題ということなので、それを意識して活動していくのが良いのではないかと。	6年度の健康イベントでは、高血圧対策をテーマとした。関連団体の皆さんにも引き続き高血圧対策を意識した活動をしていってもらおう。
開催回数	1		
参加延べ人数	13		
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			